

【成果情報名】 カーネーション多年切り栽培における切戻し時期

【要約】 カーネーションの多年切り栽培の切戻し時期は、「デリカード」では切り花品質、採花本数の面から6月10日頃が適当である。「レジーナ」では、6月10日頃切戻しで10月の切り花が硬くなるが10%程度の欠株の発生が見られる。

【キーワード】 カーネーション、多年切り、切戻し時期

【担当】 総合農林試験場 作物園芸部 花き科

【連絡先】 電話 0957-26-3330、電子メール hazeyama@pref.nagasaki.lg.jp

【区分】 花き

【分類】 指導

【背景・ねらい】

カーネーションは本県花き生産における主要品目の1つである。現在1年1作の作型が定着しており、毎年高い苗を購入することが農家の経営を圧迫し、また、近年中国からのカーネーションの輸入激増に伴う国際競争も激化している。

これらに対応するため、低コスト・省力生産技術の確立につながる多年切り栽培や疎植栽培による種苗費の低減などの技術を確立し、カーネーション産地を強化する必要がある。しかしながら、多年切り栽培では欠株や秋に切り花品質の低下等の問題がみられる。今回は、切戻し時期が切り花品質に及ぼす影響を検討した。

【成果の内容・特徴】

1. カーネーション多年切り栽培における切戻し時期は、「デリカード」では6月10日頃が適当であり、それより早いと10、11月の切り花の茎が柔らかくなる（表1）。
2. 「レジーナ」では、6月10日頃に切戻すと、6月1日頃以前に切り戻すより10月の切り花の茎が硬くなる。また、6月10日頃に切戻すと10%程度の欠株が発生するが、6月1日頃以前に切戻すと欠株の発生はみられない（表2）。

【成果の活用面・留意点】

1. 「レジーナ」は6月10日頃切戻しでは欠株が発生するため、欠株を回避する場合、6月1日頃以前に切戻しを行う。また、切戻し時期が早いと切戻し後の萌芽が多く、その後の生育も旺盛となるため、芽整理を通常の9月上旬より早めの8月上中旬に行う。

[具体的データ]

表1. 「デリカード」の切戻し時期の違いによる欠株率と切り花品質

	欠株率	採花月	採花開始	切り花重	切り花長	輪数	下垂度 1)	1株当りの採花本数	採花本数合計	
5月23日切戻し	0 %	10月	10/6	14.8 g	50.8 cm	4.4	輪	4.4	0.6 本	
		11月		17.7	57.0	3.9		2.4	1.7	2.3
		12月		21.4	60.6	3.8		2.3	2.0	4.3
6月1日切戻し	0 %	10月	10/4	15.0	50.5	3.5		3.0	0.3	0.3
		11月		17.1	56.3	4.3		3.6	1.9	2.1
		12月		19.2	60.3	3.5		2.3	1.6	3.7
6月10日切戻し	0 %	10月	10/12	15.3	52.3	4.7		2.7	0.4	0.4
		11月		17.4	60.2	4.1		2.2	1.7	2.1
		12月		19.8	64.4	3.9		2.1	2.0	4.1

注1) 耕種概要 定植 2003年6月27日
 切戻し 2005年5月23日、6月1日、6月10日
 芽整理 2005年9月5日、芽を1株8本に整理
 施肥量 10a当たり

実施期間	5月23日切戻し区			6月1日切戻し区			6月10日切戻し区		
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
切戻し後	3.6 kg	1.9 kg	4.0 kg	3.6 kg	1.9 kg	4.0 kg	3.6 kg	1.9 kg	4.0 kg
	~6月23日			~7月1日			~7月15日		
~8月20日	1.8	1.0	2.0	1.8	1.0	2.0	1.8	1.0	2.0
8月21日~9月20日	3.0	1.6	3.4	3.0	1.6	3.4	3.0	1.6	3.4

供試肥料の保証成分 (N-P₂O₅-K₂O): OKF-1 (15-8-17) を使用

注2) 下垂度: 先端から50cmの位置で水平に保持し下垂した角度。90° までを10° ごとに9段階に分類し、0° ~ 10° を1、20° ~ 30° を3とした

表2. 「レジーナ」の切戻し時期の違いによる欠株率と切り花品質

	欠株率	採花月	採花開始	切り花重	切り花長	輪数	下垂度 1)	1株当りの採花本数	採花本数合計	
5月23日切戻し	0 %	10月	10/4	21.6 g	54.7 cm	3.3	輪	3.9	0.5 本	
		11月		24.2	60.2	3.5		2.7	1.3	1.8
		12月		27.0	67.2	3.4		1.8	1.7	3.5
6月1日切戻し	0 %	10月	10/4	23.8	54.8	3.8		4.5	0.4	0.4
		11月		24.9	62.8	3.8		2.9	0.9	1.3
		12月		28.1	67.4	3.6		1.3	1.6	2.9
6月10日切戻し	11.1 %	10月	10/20	22.3	58.6	3.8		2.6	0.3	0.3 本
		11月		25.2	60.5	3.9		1.6	0.9	1.3
		12月		28.2	65.5	3.8		1.8	1.1	2.4

注1) 耕種概要 上に同じ
 注2) 下垂度 上に同じ



5月23日切戻し

6月1日切戻し

6月10日切戻し

図1. 「レジーナ」の各切戻し日による生育差 (8月23日撮影)

[その他]

研究課題名: 施設花きの省力生産技術の確立

研究期間: 2001年~2005年

予算区分: 県単

研究担当者: 樋山妙子、諸岡淳司